

予算審査特別委員会における各会派の討論

会 派 清 新

第1予算審査特別委員会では、付託された議案第1号平成29年度一般会計予算および関連議案をすべて可としました。

29年度は、滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略における移住支援事業、財政健全化計画における事務事業の見直し、JR北海道の路線見直しに端を発した根室本線の維持存続など、幾多の行政課題と厳しい財政運営が予想されます。

その中で歳入については、ふるさと納税のさらなる積極的なPRにより歳入確保に努め、交付税、国や道の各種補助金などの活用等財源確保を求めました。

歳出では、新築住宅助成制度の活用に向け都市圏へ積極的なPR、人口増加と地域経済への活性化につなげるよう求めました。また、石狩川河川敷パークゴルフ場が、健康増進、各種大会の誘致など、利用者に親しまれる施設となるよ

う要望しました。学校施設の整備、適正配置については、少子化の中で一体的に取り組み、子どもたちの教育環境の充実を求めました。

第2予算審査特別委員会では、付託された特別会計、企業会計ならびに関連議案のすべてを可としました。

各会計において、人口減少が進む中で財源の確保が大変厳しいと認識しています。高齢者が増加することにより、医療費の増加も免れません。厳しい状況ですが、行政は市民の安全と安心に应えていかなければなりません。さらなる努力を求めます。また、病院事業会計については、赤字経営を解消していくための病院改革を進めていくことを求めました。

会 派 み ど り

第1予算審査特別委員会に付託された平成29年度一般会計予算および関連議案について、可とする立場で討論を行いました。

歳入について、地方交付税の減。

財政調整基金等の繰り入れを行い総額198億8,500万円余の歳入予算を組み立てました。歳入確保には、市税等の滞納に対しての取り組みに一層努力されたい。

ふるさと納税は、自主財源確保に向け道内外に対し、PR活動をしつかりと取り組むよう求めました。

歳出について、総務費、地方創生の推進に要する経費では、新築住宅助成事業を市民に対して十分にPRしていただきたい。公共施設修繕事業の年次計画を策定し、各施設の修繕に努められたい。貸付金、第三セクター健全化への対応では、貸付金によって賄われていることを強く認識するとともに、市の財政に深刻な影響が及ぶことがないよう、さらなる経営努力を求めました。

第2予算審査特別委員会に付託された特別会計および企業会計ならびに関連議案についても賛成の立場で討論を行いました。

介護保険特別会計では、対象者が年々増加する中、当会計は市民の福祉向上においてますます重要になっています。国の制度変更も頻繁に実施され、本市でも新規予

防事業に取り組むなど、複雑になっているので、市民に分かりやすい説明と確実な給付を求めました。

病院事業会計では、医師・看護師・技師などすべての職員が経営状況になお一層の危機感を共有し策定した経営計画に沿って実行・検証を行うことを要望しました。

新 政 会

平成29年度一般会計予算および関連議案について、29年度はまち・ひと・しごと創生総合戦略と財政健全化計画の3年目であり、将来に向けた投資と効率的・効果的な予算の執行を求めて、第1予算審査特別委員会に付託された予算および関連議案に若干の意見を付して可としました。

歳入では、国や道の動向を的確に捉えた交付税・補助金などの確保とふるさと納税のさらなる推進などを求めました。

歳出では、農商工連携事業における地域農業者と民間企業のマッチングを通じた市場から求められる野菜の栽培や付加価値の高い農産物の地域形成、夕張ツムラとの